平成30年度修士論文発表概要

平成31年2月27日

修士論文発表概要の書式

知能・機能創成工学専攻

研究室名

氏　名

１．はじめに

ここでは修士論文発表概要の書式を規定する。この文章はMS-Word を用いて、ここに示すフォーマットに準拠して作成されている。必要に応じて参考にされたい。

２．発表概要の体裁

# 2.1.　用紙

概要にはA4 サイズの用紙を用いること。両面印刷にて2頁以上4 頁以内に収めること。

# 2.2.　マージン

ページ番号も含めて、概要のすべての内容は、A4 サイズの紙面を用いて、左：2cm、右：2cm、上：2cm、下：2cm の余白とする。

# 2.3.　修士論文タイトル・氏名等

発表概要のはじめに論文タイトルを記載しなければならない。また、タイトルの上には左寄せで「平成23 年度修士論文発表概要」、右寄せで発表日を記載し、タイトルの下に右寄せで専攻名、研究室、氏名を明記すること。

# 2.4.　本文

本文は原則として2 段組とすること。句読点、）｝」が行頭にくることがないようにするなど、禁則処理も行うこと。節、項、目は2.1、2.1.1、(a)の形式で記載すること。

# 2.5.　ページ番号

頁番号は各頁の下部中央に記載すること。

３．フォント、文字数、行数

# 3.1.　フォント

タイトル：ゴシック・Arial 14pt センタリング

所属・著者名：明朝・Times 10.5pt右寄せ

本文：明朝・Times 10.5pt

見出し（節、項、目）：ゴシック・Arial 10.5pt

頁番号：Times 9pt センタリング

図表のキャプション：Times 10.5pt

# 3.2.　本文中一行あたりの文字数、行送り

本文中の一段一行あたりの文字数は全角で22文字程度とし、行間隔は14pt 程度（1 ページあたり51 行程度）とする。